



## 防災計画に女性の視点を

石橋 達八 議員  
(無会派)

**問**

新地域防災計画の内容はどうなっているか。それには女性の参画や視点が生かされたか。また、ハザードマップの取り組みや、3・11を「家族防災会議の日に制定しては。」

**答**

災害に強いひと・まち・体制をキーワードに、地域防災



防災計画へのより一層の参画が期待される女性たち

計画を策定中で、市民の皆様の見聞も聞きたい。また、後方支援で女性が活躍された。その点からも女性の視点は大切であることから、防災会議にも実質的に参画していただく。ハザードマップは、現地域の調査を拡大し、作成整備を進める。3・11は大災害であった

**問**

「何でもかんでも行政や国に頼らないサービス」が求められている。来春の市機構改革を契機に、各部課に関連する特定非営利活動法人(NPO)の立ち上げに支援、応援してはどうか。

**答**

NPOは市民協働の重要なパートナーと認識している。積極的に支援を図り、裾野を広げたい。

**問**

被災地では経済復興が始まった。経済支援として、海産物の販売場所を提供しては。

**答**

来年1月から「風の丘」で被災業者の販売場所を提供する。また、当市は市日の歴史があることから、沿岸被災地の物産を販売できる「復興市」的イベントも検討している。

**問**

来年度から第5期介護保険事業が始まる。施設整備等が要因で介護保険料の負担増が見込まれるが、どれくらいか。負担軽減策や低所得者への対策はあるのか。また、新介護保険制度により遠野型介護サービスはどうなるか。

**答**

来年4月からの介護報酬改定など、介護給付費の推進に必要な改定内容が示されていないので、明確な金額は示せないが、月額4千円を越えるのではと見込まれる。基金などを活用し、負担軽減の方策を検討している。また、低所得者についても引き続き軽減を図る。新介護保険制度では、「定期巡回・随時対応サービス」などが創設されるが、当市が進めてきた在宅介護サービスを柱とした方針に沿うもので、「ぶれることなく」デイサービスやショートステイの充実で、住み慣れた地域で生活ができる環境整備を進める。